

# 川越市政だより

No.126 月1回10日発行一部2円(昭和32年6月10日) 発行所 埼玉県川越市役所(第三種郵便物認可)

新聞印刷 社印風



- ▽婦人週間(10日、16日)
- ▽発明の日(18日)
- ▽通信記念日(20日)
- ▽身体障害者福祉週間(20日、21日)
- ▽春の社会教育週間(20日、21日)
- ▽草の週間(26日、27日)

## 五月上旬

- ▽メーデー(1日)
- ▽日本憲法記念日(3日)
- ▽国民体育デー(4日)
- ▽こどもの日(5日)

## 土地測量で立入り

昭和三十六年度川越市排水改良事業のため、県の職員が次の土地に立ち入りしますのでお知らせします。

立入区域 大字古市場、木ノ目、南田島、牛子、寺尾、上新河岸、下新河岸。

立入期間 昭和三十六年四月一日から昭和三十七年三月三十一日まで。

# 成長促進へ拍車

一般会計 七億二五〇〇万円  
特別会計 四億九六〇〇万円

## 36年度 市政の三大目標決る

川越市制三十九年を迎え、昭和三十六年度の市政運営の大綱を決定する第一回定例会市議会は、三月十一日開会され二十四日にその審議を終了しました。その間、新年度の一般会計や、特別会計予算など六十五議案が審議され一部修正のほか原案どおり可決されました。その際に市長は、昭和三十六年度の市政方針を次のように発表して市議会の援助と、市民の協力を願いました。

この市政方針は、年頭のあいさつの中にも述べられていたように、ことしの市政の重点が次の三点に示されました。

1. 全市の近代化
2. 都市の近代化
3. 工業の発展促進

この三つの線に沿って、新年度予算は編成されたものです。

—— 統合的な行政一本化へ ——

その第一点は、全市を物心ともに一体となして進めてゆこうというものです。

つまり合併七年目にはいり、これまでの支所が小市役所の役割を担ったために、支所の機能が行政的、事務的に加算であつて、市民サービスの点に欠ける点もあつたために、これを出張所に改め窓口事務の合理化を図り、市民に對してはこれまでより不便を感ずることもないよう、市民サービスの向上を図ることに努めます。

—— 都市近代化で生活向上 ——

第二点は都市近代化しようというものです。

川越市は全国でも古い城下町の形を残した、風格のある街ですが、反面生活環境の近代化という点では、おくれがちです。

そこで、環境衛生をよくするため、終末処理場の建設を昨年計画し、土地取得の見直しや、起債、整理をする予定です。

その他消防機動力の充実、市営雑草事業、ターミナル防じん舗装などのほか、公会堂、庁舎建築の具体的な立案や、青少年の不良化防止のための体育の振興を図り、物心ともに都市の近代化を進めることになりました。

—— 工業開発で市勢進展へ ——

第三点は工業の発展促進を図ることです。

川越市の今後の発展は、田園都市としての体質を改め、工業開発

- ### 3月の 市政日誌
- 2日 中学卒業生就職者激励会は松竹館で開催された。
  - 4日 永年勤続衛生委員感謝授与式は川越会館で行なわれ50名が表彰された。
  - 6日 公明選挙映画会は石原町公民館で行なわれた。
  - 7日 消防関係功労者表彰式は川越会館で行なわれ、ひきつづき、火災予防の市内パレードを行なつた。
  - 9日 慶応大学講座は11日まで日清紡講堂で開かれた。
  - 10日 商高高校卒業式、卒業生321名。
  - 11日 市議会第二回定例会は24日まで開催され、昭和36年度予算など65議案が可決された。
  - 15日 各中学校卒業式、卒業生1610名。
  - 25日 母と子のための特別講演会は南古谷と芳野の各中学校で開催された。受講者は170名。
  - 27日 各小学校卒業式、卒業生2801名。
  - 28日 各保育園卒業式、卒業生115名。
  - 30日 乳牛共進会。

補助金の道も開けましたので、本年度から本格的に着手の計画です。また、各地区ごとに均等をかけていた固定資産税の負担を軽減したり、民生委員の待遇の平等化や各種の行事をできるだけ統一して行なうよう計画されています。また、このことから町内会長、区長の代表者連絡会議を多くもち、公職活動を盛んにして行政の改善と、行政下部組織の一体化に一歩を進めようとするものです。

これは中学校生徒の増加が一千二百名で、初雁、富士見、城南中学校の増設や、福原中の増設、中央の特別教室のほか、市で初めての古谷、南古谷中学を統合するの古谷、南古谷の建築などで、次代を担う青少年の教育に重点をおかなければなりません。

—— 地番整理続く ——

町名地番の整理は、引きつづき第二次計画として東上線以北約百万坪、五千七百世帯を対象に実施し、市内全域に及ぼし、五カ年程度で整理地を含む全市の町名地番整理をする予定です。

その他消防機動力の充実、市営雑草事業、ターミナル防じん舗装などのほか、公会堂、庁舎建築の具体的な立案や、青少年の不良化防止のための体育の振興を図り、物心ともに都市の近代化を進めることになりました。

### 昭和36年度一般会計歳入

料	目	昭和36年度予算額	百分比%
市	税金	367,071,000円	50.72
	手数料	121,900,000	17.42
	交付金	308,170,441	42.86
	地方交付金	224,441,000	30.78
	国庫補助金	83,729,441	11.48
	地方債	170,000,000	23.21
	雑収入	24,441,000	3.35
	雑収入	441,000	0.06
	雑収入	441,000	0.06
	雑収入	441,000	0.06
	雑収入	441,000	0.06
	雑収入	441,000	0.06
合計	725,507,600	100.00	

—— 企画室を新設 ——

以上が昭和三十六年度の市政方針ですが、市としてはこれらの新構想に対処するため、機構の一部を改正し、新しく企画室を設置し、市発展の総合統一を図ることになりました。

新年度予算は一般会計七億二千五百万円、特別会計四億九千六百万円で市制以来の中期的数字ですがその内容は、一般の給与改訂および職員定員削減など待遇改善のための経費約四千万円、投資的経費の総額一般会計は一億三千八百万円、特別会計は一億三千八百万円を含め、全体に健全な編成をしております。

しかし今後の財政運営は、開拓計画の推進とともに、当分は財政面で困難を覚悟しなければなりませんので、市民のみならず、理解を願わなければ、計画の実現はできませんのでご協力をお願いします。

このように、転換期にある市民の生活向上を考えなければなりません。このためには計画的な工業の開発と、住宅政策を進め、残る農地については高度の振興策を考へる必要があります。

幸い、市は都市計画の基礎案ができ、これにともなう首都圏市街地開発区域の候補に挙げられ、大東地区から狭山市にかけて広大な地域を計画中で、すでに関係地主の支持があり、たぐいまれな中央と折衝中ですが、市では他の地区も独自に開発方針を研究中です。これに併せて考えなければならぬのが農地の振興策です。

## 一般会計 7億2千5百万円こう使われます

市民一人当たり 6.747円

<h3>議会費</h3> <p>2,072万円</p> <p>市民の選んだ36議員による市議会のしごと</p> <p>2.8%</p>	<h3>市役所費</h3> <p>17,818万円</p> <p>職員の人事管理や市政の運営など</p> <p>24.5%</p>	<h3>消防費</h3> <p>3,151万円</p> <p>火災予防と防火のしごと</p> <p>4.3%</p>	<h3>土木費</h3> <p>6,647万円</p> <p>道路や橋、都市計画、地区整理などのしごと</p> <p>9.0%</p>
<h3>教育費</h3> <p>18,534万円</p> <p>学校教育や図書館、公民館、体育振興などのしごと</p> <p>26.0%</p>	<h3>社会及び労働施設費</h3> <p>7,492万円</p> <p>国民年金、青少年問題など社会福祉のしごと</p> <p>10.3%</p>	<h3>保健衛生費</h3> <p>7,277万円</p> <p>予防注射、ごみ、し尿の処理などのしごと</p> <p>10.0%</p>	<h3>産業経済費</h3> <p>4,387万円</p> <p>農業や商工業振興のための経費</p> <p>6.0%</p>
<h3>公債費</h3> <p>1,707万円</p> <p>各種事業債の償還</p> <p>2.3%</p>	<h3>失業対策費</h3> <p>635万円</p> <p>日雇労働者のお世話</p> <p>0.9%</p>	<h3>諸支出金</h3> <p>2,018万円</p> <p>市税の合書や特別会計への繰出金など</p> <p>2.8%</p>	<h3>その他</h3> <p>812万円</p> <p>市財産の管理や選挙、統計などの経費</p> <p>1.1%</p>

### 特別会計

特別会計	4,960,000,000円
公債費	95,568,000
国民健康保険	248,577,000
国民年金	112,859,100
労働者福祉	9,251,900
労働者福祉	25,543,500
労働者福祉	255,000
労働者福祉	642,100
労働者福祉	496,997,600



### 針の短入歯 歯科診療

国保の歯科診療のときの補綴（入歯）の給付については、昭和三十一年度から実施して、被保険者の心便をはかることになりついで、その開始時期は、厚生省で歯科の最新技術が普及してきているので、その結果をまじりて、歯科医師会が協定を結んで、この予定で、川越市もこれに基いて行なうので、ますますお待たせ願います。

なお、柔道整復師の治療については、三十二年から全県が統一された療養給付を受けられるようになりましたから、お知らせいたします。

### 相談

心配ごと相談と無料法律相談は、毎月第四水曜日に民生課で開いています。四月から第一水曜日にも法務局で開くことになりました。どちらにも無料ですからお気軽にご利用ください。

第二水曜 法務局  
第四水曜 民生課  
一般相談 午前九時から四時  
法律相談 午後一時から四時

### 海外移住者の募集

ブラジル国バイカイ州レチエツク植民地の自営開拓移住者を、次のとおり募集しています。

募集数 三十二世帯  
締め切り 五月八日  
送付予定 七月四日船  
資格 〇働ける人が三人以上いる世帯  
〇生活、営農資金として最低二万円以上有する家族

### 子供の日、母の日に 特殊はがきを発行

五月五日は子供の日、八日は母の日にあたるので郵政省では、この日にちなんで特殊はがきを発行し、五月一日から全国の郵便局で売出します。

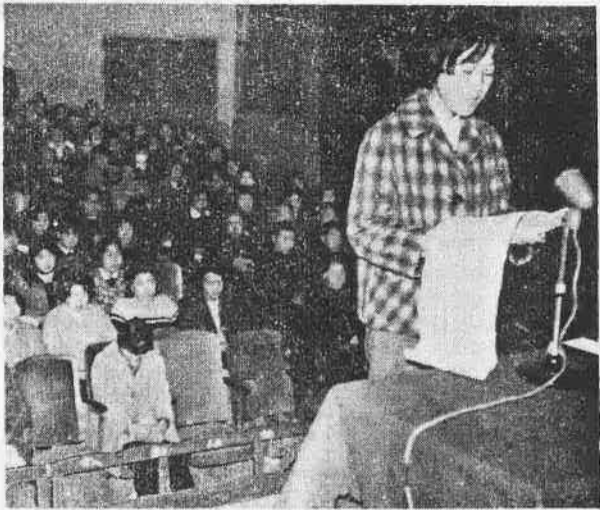


新しい農業知識と技術を導入するため、農業大学講座は、三月九日から十一日まで、日清紡績講堂で開かれました。科目は「これから畜産」「最近の除草剤とその使い方」「最近の稲作技術」という実益ある内容に好評でした。受講者は、のべ二七五名でした。

### スポーツ ライト

### 中卒就職者の激励会

中学校生徒就職者激励会は、三月二日、松竹館で開かれました。この日集まった生徒は市内13中学校の750人で、伊藤市長や、北村昭彦指導協議会長から激励の言葉があつたのち、代表の初雁中3年田村みどりさんが「この感謝を忘れず努力しなす」とお礼を述べました。このあと全員に記念品が贈られてから映画を見物しました。



### 小児マヒの注射

小児マヒの予防注射は、二月二七日から市内各会場で行なわれました。昨年全国的に大流行し、ことしも昨年以上の流行のきざしが見えるとあつて、お母さん方の関心も強く、この会場も赤ちゃんの泣き声でいっぱいでした。三月末日までに第二回目の注射を終えた該当者は9割を越し、好成績でした。



### 保育園の卒業式

三月二八日、市内六つの保育園の卒業式が行なわれました。卒業生は全部で115名でした。中央保育園では、お母さんに、手を引かれて集まった21名の園児たちが花を胸につけ、園長さんから、一人一人に保育証書が渡されました。園長さんは「よく勉強して立派な人になつてください」とよい子たちを励ました。



### 才12・13回施設めぐり

### 「目で見るとどうぞ」

34年度から続いている「市内公共施設めぐり」は大人好評です。ことしは5・7・10・11月に二回ずつ実施する予定です。

この目的は、みなさまの暮らす町の結晶である市街のゆかえが、どんな姿で使われているかを知っていただき、さらに協力を願うこと、というのがねらいです。

どうか振って参加してください。

実施する日 五月二六日(金)  
対象と人員 高階地区 18人  
福原 15人  
大東 22人

実施する日 五月三十一日(水)  
対象と人員 市街地区 55人  
申込み受付 四月十日から30日  
第13回は各出張所  
第13回は市役所庶務

集合の時間 午前8時10分までに市役所前へ  
出発と帰着 午前8時30分から午後5時まで  
のりもの 観光バス一台  
無料(中食は各自で持参ください。)  
参加の場所 浄水場、しんが焼却場、月越小学校、東洋大学、ゴルフ場、荻原園、大東中学、一豊源、洋インキ、(商業高校)、授産所、消防署(上江橋)

註：カツコ内は下車しません。第13回は大東中学、第13回は月越小学校を参観します。そのほかは共通です。

### 市施設の新住所

3月1日から北部市街地の新町名、新地番が生まれましたが、これにより市施設の住所は次のように変わりました。

施設名	住所	電話
市役所(本庁舎)	元町一丁目2番地	(代) 1450
市役所(分室)	元町一丁目4番地の2	(代) 1450
消防署	元町一丁目2番地	800
市民生活課	大手町7番地の8	(代) 1450
市長公署	喜多町11番地の9	834
中央保育園	郭町一丁目18番地の2	2770
第三保育園	志多町12番地の1	
図書館	郭町一丁目21番地	1640
公民館	郭町一丁目18番地の1	559
武蔵屋	郭町一丁目19番地の6	
宮下浄水場	宮下町一丁目1番地の6	
上水道事務所	郭町二丁目19番地の1	2262
初雁公園	郭町二丁目13番地の1	1301

### モニター通信

### 市政クイズ

「川越市政だより」がクイズをのせるようになってから、毎号のしみに家中で考えを凝らして、正解したの一回ですが、抽せんも一回でした。

問題はちょっとむずかしい時もありますが、紙面をよく読むと自然に解けるしくみは編集者の苦心と要領のよさがうかがえます。

しかし、私の所は慶幸地帯です。市長、助役に対する頭接等の連絡と応待のしごとをします。

「人事係」近藤三美雄係長ほか五名

### 公正な人事

仲千彦係長ほか十五名

昭和三十四年七月機構改革により総務課から別れて新設された秘書室は、室長の下に秘書、人事課の三係があり、市長の直下にあつて市長、助役の直接のしごとと市関係各委員会や事務局との連絡また市役所職員採用、異動、給与、福祉関係して市有自動車の配車、運行と概略次のようなしごとをしております。

「秘書係」横溝久寿男係長ほか二名

市の儀式、交際に関するしごと職員及び一般の方の発行、功勞者等の表彰、国または県に表彰の申請をしたり、市政全般にわたる市長の事務と連絡、また重要な市の公印の管理保管のしごともあり、なお関係諸団体や各課等と密接な連絡をとり書類の取りつぎもして、それぞれの事務や行事が適格に早く進められるようにつとめ、また

### 広報のしおり

〇うづき(卯月)

四月はうづきと呼ばれます。古い本に「卯の花さかりに朝の故に卯の花月」とありますが、この卯の花はそら木(望木)の花のこと。山野に自生したり、いげがきなどに植えられ、夏のはじめ白色の五弁花が咲く高さ二メートルあまりのかん木です。

〇こどもの日

五月五日はこどもの日です。

### 憲法記念日

五月三日は日本憲法の記念日です。昭和二十一年十一月三日に公布され、翌二十二年五月三日から施行されました。

昔からわが国では男子のお祝いをするたぐい(端午)の節句の行事があります。端午というのはいまの最初の年(うま)の日のことですが、これが五月五日という日に定まっています。

### 今日の市税

固定資産税 第1期  
軽自動車税 全期  
保険税 第1期  
4月28日までにお納めください

### 公益質屋

武蔵屋 郭町一丁目  
才二公益質屋 菅原町

利子月3分  
貸付金額 2,000円  
1万円以下  
1万円10,000円まで  
初めての人は保証米穀運上

### 人口のうごき

(3月1日現在)

人口	111,424
男	54,844
女	56,580
出生	21,607
死亡	1,466
前月比	150人増

